

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第9回 ワークショップ

授業を通してソルフェージュを考える

日本ソルフェージュ研究協議会は、ソルフェージュを従来の枠に囚われず、幅広い観点から考察するため、講演会、シンポジウム、ワークショップ、研究発表、演奏者からの提言と定期的に催事を行っております。

今回、1年、間をおきましたが、関西地区での第4回目のワークショップを開催させて頂く運びとなりました。

相愛大学音楽学部の赤石敏夫先生は一昨年の内容についてのより具体的な事例の紹介を、また、本協議会茂木真理子理事が黙読力UPのための勉強法について提示いたします。

作曲とクラリネットという異なった出身ですが、目指すところは同じ音楽理解力の向上。そこへ至る道筋の可能性と問題点を皆様と共に考えていきたいと思っております。より多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

日本ソルフェージュ研究協議会会長 渡辺 健二

日時：2020年 **3月21日**(土) 14:00開演(13:30開場)
会場：相愛大学：アンサンブルスタジオ B1



茂木 真理子 Mariko MOGI

大阪市阿倍野区出身。4歳よりピアノを12歳よりクラリネットを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、同大学器楽科卒業(クラリネット専攻)東京藝術大学大学院修士課程音楽研究科(音楽学・ソルフェージュ専攻)修了。現在、東京藝術大学音楽学部(音楽学講座・ソルフェージュ及び音楽環境創造科)、東京音楽大学に於いて非常勤講師を務めている。クラリネットエチュード「ローズ・32のエチュード」全曲に伴奏譜を作曲し、そのCD(ALM-RECORDS)と楽譜(ALSO出版)またクラリネットエチュード「カヴァリーニ・30キャプリス」全曲に伴奏を作曲し2枚組のCDがALM-RECORDSより発売されている。東京クラリネットアン

サンブルの委嘱により「華麗なるクラリネットアンサンブルの世界」ⅧとⅨには、クラリネット五重奏曲を作曲。「樹々の調和」「楽しき農夫の主題による変奏曲」が収録されている。富山県立呉羽高等学校と八王子市立上柚木小学校の校歌を作曲。日本ソルフェージュ研究協議会理事。日本クラリネット協会会員。日本音楽著作権協会準会員。http://mogimari.main.jp/

◆MOGIMOGI 授業 黙読(目読)ノススメ

声や楽器で音を出さず、楽譜からどれだけのことが読み取ることができるか…?

読譜力とは黙読力(楽譜に書かれている内容をどこまで理解できるかという力)だと考えています。今回の模擬授業では、初見視唱や試奏のみならず、演奏に活かせる黙読力UPのための勉強法をいくつか実践してみたいと思います。



赤石 敏夫 Toshio AKAISHI

国立音楽大学音楽学部作曲学科卒業。現在、相愛大学音楽学部教授。ソルフェージュ、和声法などを担当。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会(理事)、全日本ピアノ指導者協会、日本ソルフェージュ研究協議会各会員。赤石音楽研究室代表。著書：「ソルフェージュ入門(上・下)」(KMP刊)、「独習聴音問題集(上・下CD-R付)」(全音刊)、「視唱ステップアップ(共著)」(全音刊)、「和声学」(日本音楽文化振興財団刊)他。

◆オブリガート唱・和声感の育成

一般的にソルフェージュの授業では、楽譜を正確に歌ったり聴き取ったりすることを求められることが多いですが、実は楽譜からヒントを得て様々に応用できることも大事です。例えば旋律に即興で伴奏を付けることもその一つですが、今日は旋律に助奏(オブリガート)を付けて歌うことをやってみましょう。頭の中で和声進行を考えながら歌うことは大切な和声感の育成につながります。音楽における空間認識能力の育成でもあります。

▶入場料無料

なお、正会員以外の方は以下の経費負担をお願い致します。

一般 3,000 円、学生 1,000 円、賛助会員(個人) 1,500 円

▶問い合わせ先：

日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567 (留守番電話)

E-mail : ni-sol-ken@island.dti.ne.jp

http://www.ni-sol-ken.com/index.html

●相愛大学 音楽学部 本町学舎●

〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-23 電話 (06)6262-0621 (代表)

相愛大学 音楽学部 本町学舎



地下鉄 御堂筋線 本町駅 4番出口 徒歩1分